



こども誰でも通園の利点・課題等、 施設・保護者からのお声





国の検討会などで出ている利点や課題は……

利点

<実施施設>

- ・空き定員、空きスペースの活用
- ・新入園児の確保
- ・保育園等の多機能化

<保護者>

- ・育児負担の軽減や孤立感の解消につながる
- ・子どもが同世代とかかわりながら成長できることや集団生活に慣れるなど、こども育ちに良い影響がある

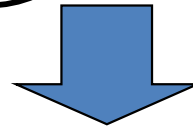
課題等

<全体>

- ・月10時間の利用時間は十分な時間設定とはいえない
- ・一時預かり事業との違いがわかりにくい

<実施施設>

- ・保育士等の人手不足
- ・保育現場の負担が増となる
- ・利用の見通しが立てづらく、受入体制を整えづらい



令和8年度からの本格実施を見据え、
今回の試行的事業での課題等を国にしっかりとフィードバックしていく



●誰でも通園担当が各実施施設を訪問する中でお聞きした声・・・

○実施に当たり、京都市としっかり協議したおかげもあって、制度が理解できて、思っていたよりも取っ付きやすい制度だと思った。新たに職員を雇用する必要があると思っていたが、現状の体制で、可能な限りの受入定員を設定することで実施できた。

○選定外となった方もいたが、その方が園の一時預かり事業や子育て支援事業に参加されるなど、園のPRにもなった。また、令和8年度からは正式導入されるため、試行的事業を実施することで経験値ができることは良かった。

また、利用している児童の成長が見られ、職員もやりがいを感じている。

こんな意見も・・・

○多くの利用者と面談するのはとても大変。園に慣れない子どもたちの特性を短い時間で把握して、安全に保育することとても大変・・・

○正直、配置基準以上の職員が必要となる。また、委託料があまりにも安すぎて、現場の負担に見合っていないように感じる。等々



保護者からのお声（アンケートから抜粋）



- 家では出来なかったことが、誰でも通園を利用することで出来るようになって子どもの成長を感じる。
- 子どもが誰でも通園を利用する日は、自分の時間が少し取れるため、リフレッシュできて、子どもに接するときも気持ちに余裕ができる。
- 保育園だと家ではできない遊びをしてもらえたり、給食を食べたりと子どもにとって、いい刺激になっている。
- 親と離れた環境でも遊べることがわかり安心した。また、今後、幼稚園や保育園に通う際の練習にもなっているのかなと思う。
- 普段、同年代の子と遊ぶことが少ないので、通わせることでそういった機会ができ、子どもにとって良い刺激になっている。

こんな意見も・・・

- 10時間では短すぎる。次の利用までの期間が開きすぎて中々馴染めない。
- 1日の預かり時間が短すぎる。やはり給食も食べさせてほしい。
- 実施施設が少ないので、増やしてほしい。

等々

